

「博愛会理事長×北海道新聞帯広支社長 対談企画」

「社会医療法人」としての新たなスタートを機に発信

十勝の医療・介護の中核を担う博愛会が、より高い公共性が求められる「社会医療法人」に変わる... 早速、博愛会理事長にアポイントを入れ、北海道新聞帯広支社長とともに訪問しました。

昨今、積極的に医療広告を展開し、地域の期待に力強く応えている他事例を紹介しつつ、対談スタイルで第三者目線を交えることによる嫌みのない情報発信の有用性もPR... 掲載後も機動力をもって病院の思いを訴求するスタイルも併せてご提案した結果、地元紙に先んじて出稿お申込みをいただくことができました。

制作にあたっては、沿革や十勝医療の現場での役割を紹介しつつ、理事長の地域への思いを医療以外のシーンも交えて紹介することで、かけがえのない存在感を再認識いただく構成を心掛けました。記事体広告の下の、純広告部分では2020年春に開業予定の入居施設紹介に加え、形式にとらわれないさまざまな人材を求める一風変わった求人広告も併載することを提案しました。

病院エントランスにはこの紙面を掲出いただいております、「理事長、出てたね」(患者さん)という声も。抜刷りを医療関係者に配布したところ、反響は上々とのことでした。また、紙面を見た方から「ここで仕事をしたい」という連絡もあり、手応えを感じているとお声も。

患者・医療関係者・求職者それぞれへ訴求可能なこのスタイルは、他業種でも活用いただけると感じています。

(帯広支社営業部 道徳 英之)

新聞記事のスクリーンショット。見出し:「地域とともに歩む 社会医療法人を目指して」。写真:細川吉博氏。本文:「患者の思いに寄り添い、支える 医療と介護、切れ目ないサービスを提供...」

博愛会のおしらせ。見出し:「この葉 令和2年3月開設予定」。内容:「特定施設入居者生活介護... 0155-38-7566」

(2019年9月12日 朝刊 帯勝版 全15段)

POINT!

* 新しいスタートなどの節目に、北海道新聞社の支社長などとの対談企画による深い発信が可能です。

◆ お問い合わせ / 北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2019.10)

* ウェブサイトにバックナンバー掲載中! 【道新 営業局】で検索! (https://adv.hokkaido-np.co.jp/)